

第6回ワークショップ(H18.11.11)振り返りシート集計

	Q1今日のワークショップで気づいたこと発見したことはありますか？	Q2今回のワークショップで発言できなかったこと、言い残したことがありましたらご記入ください。	皆様からのご意見に対し、現状でお答えできるものについて記載させていただきました。
1	行動に対する責任の所在が重要である。何をやるにしても組織化し、責任者を明確にすることが必要である。まちづくりにしても自治会を中心として行動すべきで計画の作成についても市民の声を取り入れた計画を希望する。	市民主体で全てを実施することを念頭において今後の計画を実施して欲しい。	今後の市の計画作成の中でどのようなルールがあれば市民主体の計画が出来るのかを次回以降、ご議論いただきたいと思います。
2	天候の影響か15名の参加にはガッカリ。住民自治に根ざしたディスカッションがなされた。ここまでくると参加されている方の認識は深く、また、問題意識も持っておられ大変勉強になりました。	住民自治の基本となる10年先、30年先の姿を描くにはまだ認識が足りない(現状にとらわれている)。総合振興計画のように、一度白紙から理想像を描いてみたらどうだろうか。(第5回の議論に戻らないことを前提に)	参加いただいている皆様の問題意識が高く、事務局も大変勉強させていただいています。参加者の問題につきましては、このような現状を踏まえ、市民全体に住民自治を浸透させるにはどうしたらよいかというような視点での議論もしていただけたらと思います。
3	北本市市民意識調査(平成17年5月報告書作成)、第四次総合振興計画等の資料を事前に学んでおく必要があった。ワークショップに市の幹部職員(部課長クラス)も出ていただけるとありがたい。提供いただいた資料はもっと整理してください。(グループ別でなく、項目別にまとめると良い)	ゆりかごから墓場までという観点からまちづくりを考えて理想と現実とのギャップを埋める作業、方策を考えるのはボリュームが多すぎて時間が足りなかった。そのため、一部分を取り上げるにとどめた。市民の側。行政の側というだけでなく、両者が協働して対処することが大切と思う。	さまざまな考えを持つ個人が集まったグループで、膨大なテーマの中から一つのテーマを絞り込む作業は大変なことだと思います。しかし、住民自治を考えた時、問題の一つを取り上げて皆でその解決方法を議論することは日常生活の中で既に行っている作業のように思います。今回は、そのような視点で、テーマも皆様の間で選択し、討議していただくことを期待していました。今後は、おっしゃるような市民と行政との協働の視点についても議論を進めていただきたいと思います。
4	市民としての取り組み策をもっと話し合いたかった。参加者各々の立場から条例制定に前向きに対応していることに感動した。また、色々な情報収集をしていることに敬服。ユニークな意見もあり、おもしろかった。	民主制度、自治会、医療、子ども会等、ギャップの提起が色々あり、その対応等々意見もあるが、今後、一層の議論を交わしたい。すばらしい条例制定には、議論の質と量が左右するので、行政等と一体となって共に進めたい。	今までの経緯から行政側に期待する項目の方が多く出ることには仕方がないことかもしれません。しかし、前回のワークショップで議論のあった「税金のないまち」を実現するには、すべての事業を市民の皆様が担うことが求められます。そのような視点からも住民の側で担うべきものを議論いただけたらと考えていました。
5	余りにも範囲が広すぎて大変である。もう少し絞った問題提起が欲しい。	市民参加と民営化出来るスリム化について	おっしゃるとおりまちづくりの範囲は膨大です。今回皆様にお願ひした一つのテーマをグループで選択する作業は、自分たちのことは自分たちで決めるという住民自治の考え方から事務局で選ぶことはせずに、皆様にお願ひしたものです。
6	グループワークの今回の進め方が今ひとつ判然としなかった。テーマを各グループに与えて議論をした方がもっと深く検討できたと思います。	市庁舎問題 ワークショップメンバーの氏名簿を作成して欲しい(氏名、住所、何丁目まで)	テーマはグループ内でメンバーの総意に基づいて選択決定していただくことをお願いしました。行政側から「与える」ものではないと認識しています。名簿の作成は考えていません。皆様の間でネットワークを構築していただくことを期待します。
7	第4、5回のまとめの資料が配布されましたが、各グループ毎のまとめがなく、集約されたものでないと、今回の参考資料としては適切でないと思います。		今回お配りした資料は、これまでのグループワークで皆様にまとめていただいた模造紙をそのままデータ化したものです。集約は市民ワークショップという性格から今回のワークの中で皆様にしていただくことを想定しました。
8	小人数での討議でテーマ以外のことも話題に上り多くの事柄を知る機会が有り難い		ワークショップのような場所での議論の中で北本の現状を再認識していただくことは住民自治の実現に有効な手段であると考えます。
9	最初の説明で話の始まりが遅くなる 問題が多いのに時間が短すぎる		毎回、参加させていただいている方には同じ内容の話になってしまいますが、ワークショップに参加している全ての方がこれまでの振り返りにより同一認識の下に作業に取り掛かれるように行っているものです。次回からは要領を得たアナウンスを心がけます。
10	市の総合振興計画を一覧しましたが、過去、現状に関する数量がないようですが？ 他の略同一の市との上記比較数量はないのですか。	市の現在の条例はどうなっているのですか？ 市の現在の条例は4市の基本条例と比較して不備な点はどこですか？	他市と当市との比較検討、また、条例の不備な点を探すことは次回以降、「条例に位置付けすべき項目出し」の中で皆様に議論していただきたいと思います。また、細かい比較、研究に付きましても、今後の条例研究懇話会で進めるべきもので事務局が答えを出すものではないと考えます。
11	市民主導で進めて行くための会則や会議のルールが必要ではないかと思う。 条例を制定するためには、市との協働の関係が重要であると思う。 パートナーシップの検討も必要か	学習会から始め、ワークショップも6回に入った。理想と現実のギャップ解消についての意見交換が有りましたが、時間的には充分ではなかった。	次回も今回の議論を継続しながら条例に位置付けすべき項目を検討していただけたらと考えます。会則や会議のルールというご意見でございますが、皆様が自主的に研究会を組織していただくことも想定しています。しかし、住民自治を考えるワークショップの主催者として、事務局から働きかけを行うことはいたしません。

第6回ワークショップ(H18.11.11)振り返りシート集計

	Q1今日のワークショップで気づいたこと発見したことはありますか？	Q2今回のワークショップで発言できなかったこと、言い残したことがありましたらご記入ください。	皆様からのご意見に対し、現状でお答えできるものについて記載させていただきました。
12	ブレインストーミングでは命題の選択と結論の導き方が明確でなかったため、議論点があいまいだった。一定の時間が成果を期待するのであればその辺を明確にすることが大切と考える。		これまでのワークショップの中で議論していただく時間が少なかったこと、また、当初は市民と行政との中間に立つ第3者的な立場でのワークショップの運営を心がける筈でしたが、それが中途半端になってしまったことも反省しています。今後、開催回数に限られますが、皆様方の活発な議論により、条例に位置付けすべき項目が示されることを期待しています。よろしくお願いいたします。